

第8回 大山学講座のお知らせ

講演会 「江戸時代の大山寺」

古くから天台宗の一大拠点として栄えてきた大山寺は、江戸時代には3,000石の寺領をもつ中国地方屈指の大道場として隆盛を誇りました。

今回は大山寺の寺領、寺院の構成、鳥取藩との関係など「江戸時代の大山寺」について講演会を行います。

日 時	3月13日(土) 午後1時30分～3時
場 所	大山公民館(大山町末長269-1)
講 師	県立公文書館 県史編さん室 室長 坂本敬司 氏
そ の 他 問い合わせ	申し込み不要、どなたでも参加できます。 社会教育課文化財調査班 ☎54-5212 名和公民館 ☎54-2688

古代の魅力発見プロジェクト講演会

「人を惹きつける景観整備の基礎」(参加無料)

遺跡を楽しんでもらうためには、どのような整備が必要か? 妻木晩田遺跡、向山古墳群、上淀廃寺跡の三つの国史跡の一体的な活用を、景観整備の観点から問い直し、地域活性化につなげる方策を学びます。

日 時	3月19日(金) 午後1時30分～3時
会 場	鳥取県西部総合事務所 講堂
講 師	堀 繁 氏 (東京大学アジア生物資源環境研究センター教授)
演 題	「人を惹きつける景観整備の基礎 ～弥生から白鳳までの史跡の魅力発見～」
主 催	鳥取県・米子市・大山町の各教育委員会
定 員	180人(先着順)
問い合わせ 申し込み先	鳥取県教育委員会事務局 妻木晩田遺跡事務所へFAX またはEメールでお申し込みください。 ※申し込み締切 3月12日(金) 電 話 0859-37-4000 FAX 0859-37-4001 Eメール mukibanda@pref.tottori.jp